

平成 24 年度 第 II 期 環境経済の政策研究 採択研究課題一覧

研究分野・課題名【研究代表者】	概要
① グリーンニューディール(GND)政策等の産業影響分析と我が国環境技術の国際展開手法の検討【角南篤 政策研究大学院大学 准教授】	次世代自動車や新エネルギーの創電・蓄電技術の研究開発を事例として、諸外国における GND 政策の経済影響分析と環境技術イノベーションへの影響、我が国環境関連産業の国際展開に関する調査分析に基づく GND 政策とイノベーションに関する政策インプリケーションの整理・提言
② 政策展開・評価型の持続的発展指標開発とそれに必要な統計情報の強化に関する研究【山下潤 九州大学大学院比較社会文化研究院 准教授】	環境・経済・社会の統合指標の開発に向けた諸外国・国際機関における持続可能性指標の策定や活用とこれらの指標に関する研究動向に関する研究、動向調査により得られた各指標項目の分類・構造分析、指標策定過程の分析、試案の策定と試算、及び関連する環境統計の拡充強化に関する研究に基づく政策インプリケーションの整理・提言
③ 高質で持続的な生活のための環境政策における指標研究【馬奈木俊介 公益財団法人地球環境戦略研究機関フェロー】	持続可能性・幸福度関連指標に関する情報収集、幸福度指標を用いた自然資本の金銭価値評価に関する分析、指標の比較検討と各国における指標開発・利用の動向調査、生活の質に関連する指標の統合化に関する分析、統合的指標の作成・政策評価、統合的指標の活用方法の提案、統合的指標による評価のための統計情報のあり方の分析に基づく政策インプリケーションの整理・提言
④ 地域内外の影響を考慮した環境・経済・社会の評価指標と測定手法の開発【中口毅博 芝浦工業大学システム理工学部環境システム学科 教授】	地域(国)における「環境・経済・社会の統合的向上」を評価する枠組み・指標の体系化を行うため、評価指標の地域(国)内外別算定手法の開発、既存統計情報では不足するデータ(安全性・頑健性・社会関係資本等)の測定手法の開発、海外における地域レベルの持続可能な発展指標の分析に基づく政策インプリケーションの整理・提言
⑤ 地方公共団体における地球温暖化対策実行計画等の実施に伴う環境・経済・社会への影響分析【小池淳司 神戸大学大学院工学研究科市民工学専攻 教授】	我が国の低炭素化施策の総合的な評価システムの開発及び現実的な評価経済モデルの構築に資するデータベースの構築、モデルの構築、現実的な評価を行うため、地方公共団体実行計画策定における要因(原因)分析手法の確立、及びフレーム(人口や企業分布、経済、生活、環境指標)等の分析に基づく政策インプリケーションの整理・提言
⑥ 低炭素地域づくりに資する温暖化対策の地域経済への影響・効果の把握、統合的評価、及び環境経済政策への反映に関する研究【大野栄治 名城大学都市情報学部 教授】	温暖化対策と地域経済活性化の両立に関する先進事例等の調査と把握に関する研究(事例研究)、温暖化対策が地域経済に与える影響・効果の定量化に関する研究(シミュレーション)、温暖化対策の統合的評価と地域での環境経済政策への反映のあり方に関する研究(実装研究)に基づく政策インプリケーションの整理・提言
⑦ 新たな市場メカニズムの国際比較及び二国間オフセット・クレジットメカニズムの排出削減効果等の分析【有村俊秀 早稲田大学政治経済学術院 教授】	二国間オフセット・クレジットメカニズムの経済効果分析・温室効果ガス削減効果分析、セクター別クレジットメカニズム等新メカニズムの CGE モデル構築・シミュレーション分析、REDD プラスの関わる不確実性の研究と制度分析、新メカニズムの技術移転効果の研究、スコープⅢ等その他の新メカニズムの経営学的分析、新たな市場メカニズムの制度研究及び比較研究に基づく政策インプリケーションの整理・提言
⑧ 資源採取から国内でのリサイクルまでのトータルライフサイクルを視野に入れた物質利用に伴う環境影響評価手法の開発及び我が国のリサイクルシステムにおける循環資源の流通・利用状況の環境・経済・社会面からの検証による国際資源循環の推進【小嶋公史 公益財団法人地球環境戦略研究機関 ディレクター】	カーボンフットプリント・一次資源投入の推定、ライフサイクル環境影響評価のための情報収集、我が国のリサイクルシステムの評価手法の検討、持続可能な資源利用政策の環境影響評価手法の開発、ライフサイクル各段階における環境影響の評価指標に関する研究、我が国のリサイクルシステムの評価および他国リサイクルシステム情報の収集、カーボンフットプリント・一次資源投入を用いた持続可能な資源利用政策の環境影響評価、物質利用に伴うライフサイクル環境影響評価、国際資源循環の推進に関する研究に基づく政策インプリケーションの整理・提言
⑨ 我が国における効果的な生物多様性の経済価値評価手法及び経済価値評価結果の普及・活用方策に関する研究【栗山浩一 京都大学農学研究科生物資源経済学専攻 教授】	今後の国立公園指定が検討されているやんばる・奄美諸島を対象とした現地調査を踏まえた経済評価の調査票設計、政策分析、統計分析、経済実験による政策分析、生態学を考慮した政策インプリケーションの整理・提言

